

評価方法基準（素案）

検査方法関係

検査方法基準（素案）	1
別添様式 1：標準検査チェックリスト	3
・戸建住宅用	3
・共同住宅用	6
・記入要領	10
別添様式 2：標準施工状況報告書	11
・戸建住宅用	11
・共同住宅用	12
・記入要領	14

検査方法基準（素案）

1．適用範囲

本検査方法基準は、評価方法基準による評価に基づき表示される内容が、予め評価された仕様の実現を約束するものである場合に適用する。

2．定義

本基準において、「検査」とは、評価方法基準により特定の水準を満たすと評価された住宅の設計図書（評価の対象とならない部分を除く。以下同じ。）のとおりに行われていることを確認することをいう。

3．検査方法

1) 検査は、工事現場に直接立ち入って行うものとし、現場への立ち入りは、建て方の種別により、少なくとも次の時期に行うこととする。

イ 戸建及び長屋建にあっては、基礎の工程、屋根の工程及び内装の工程の時期並びに竣工時とする。

ロ 共同建にあっては、基礎の工程、2階の床の工程、3に7の自然数倍を加えた階の床の工程及び屋根の工程の時期並びに竣工時とする。

2) 検査は、建築士が作成する工事監理報告書、建設工事の請負人が作成する施工状況の報告書及び現場に備えられている工事の記録による他、記録の信頼性を確認するため必要がある場合等に、実物についての目視、計測又はこれに準ずる方法によるものとする。

3) 実物の検査については、検査の項目、方法（対象となる部位を抽出して確認する方法による場合の抽出方法を含む）を明確にすることとする。この際、抽出する部位について建設工事の請負人に予め通知しないものとする。

4) 2以上の住戸からなる住宅においては、住戸毎に定まる性能に関連する検査に際し、最低、評価対象住戸の1割以上について実物の検査を行うこととし、住戸の抽出率等の抽出方法については着工前に確定することとする。この際、抽出する住戸について建設工事の請負人に予め通知しないものとする。

5) 評価された設計図書と異なる工事が確認された場合には、工事の修正により当該設計図書のとおりに行われたことが確認されない限り、又は、申請に基づき設計図書の変更の評価がなされない限りは、関係する性能につき、最低水準の評価を行うこととする。ただし、部分的な変更で容易に評価方法基

準に照らした評価が可能な場合は、設計図書の変更がなされたものと見なして、評価を行うことができるものとする。

- 6) 検査にあたっては、別添様式 1 の検査チェックリストを用いることとする。
また、施工状況報告書(工事記録の指定を含む)は、別添様式 2 によることとする。

別添様式 1 及び 2 については、構法等によらない共通的な内容を定める。さらに、戸建木造軸組住宅、共同建 R C 造住宅等の一般的な構法によるものについて、詳細様式を策定し、これをガイドラインとして公表する方向で検討する。

また、個々の設計に応じたチェックリスト及び施工報告書の詳細様式については、原則として、申請者が作成することとし、評価機関は、別添様式 1 及び 2 に照らして、その適性を審査することとする。

- 7) 5) のただし書きによる再評価の結果を記載した記録を別添様式 3 (未策定) により作成することとする。
8) 検査に用いる機器は、所定の方法で校正し、校正の記録を別添様式 4 (未策定) により作成することとする。

(別添様式1：標準検査チェックリスト)

<戸建住宅用>

第1回検査 検査年月日 [年 月 日] 検査を行った時点の工程 [基礎の工程 : (具体的に)]						
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正 (月日)
		A(目視等)・B(計測)・C(施工状況 報告書等の確認)の別 その他検査に用いた書類の記録		1次 (適・否)	2次 (適・否又は不適合箇所の記録)	
地盤	1)支持地盤の位置・種類 2)地盤の支持力 3)その他必要な事項					
基礎	1)構造形式・寸法・位置 2)部材の材質・種類・寸法・位置 3)施工方法、品質管理方法 4)(必要な場合)換気口の位置・間隔 5)その他必要な事項					
第2回検査 検査年月日 [年 月 日] 検査を行った時点の工程 [屋根の工程 : (具体的に)]						
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正 (月日)
		A(目視等)・B(計測)・C(施工状況 報告書等の確認)の別 その他検査に用いた書類の記録		1次 (適・否)	2次 (適・否又は不適合箇所の記録)	
地盤	1)第1回検査で確認できなかった事項					
構造躯体	1)部材の種類・材質・寸法・位置 2)部材・基礎の接合方法 3)部材を保護する材料の種類・材質 4)施工方法、品質管理方法 5)その他必要な事項					

床下	1)床下処理のための材料の種類・材質 2)施工方法 3)その他必要な事項					
屋根	1)下地・葺き材の種類・材質 2)施工方法 3)その他必要な事項					
第3回検査 検査年月日[年 月 日] 検査を行った時点の工程 [内装の工程 : (具体的に)]						
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正
		A(目視等)・B(計測)・C(施工状況報告書等の確認)の別 その他検査に用いた書類の記録		1次 (適・否)	2次 (適・否又は不適合箇所の記録)	
構造躯体	1)第2回検査で確認できなかった事項					
外壁・床・天井の 下地構造	1)部材の構成・材質・種類・寸法・位置 2)施工方法・品質管理方法 3)その他必要な事項					
第4回検査 検査年月日[年 月 日] 検査を行った時点の工程 [竣工時]						
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正
		A(目視等)・B(計測)・C(施工状況報告書等の確認)の別 その他検査に用いた書類の記録		1次 (適・否)	2次 (適・否又は不適合箇所の記録)	
各部の下地構造	1)第3回の検査で確認できなかった事項					
外壁仕上げ	1)部材の種類・材質・位置・寸法 2)施工方法 3)その他必要な事項					
内装	1)部材の種類・材質・位置 2)その他必要な事項					

開口部	1)開口部の位置・寸法 2)部材の種類・材質・寸法 3)施工方法 4)その他必要な事項					
設備・器材	1)設備等の種類・特性・寸法・位置 2)取り付け方法 3)その他必要な事項					
配管	1) 配管の位置 2) 施工方法 3) その他必要な事項					
居室・廊下・階段	1)居室の面積・出入口の寸法 2)廊下の寸法 3)階段の寸法・形状 4)その他必要な事項					

< 共同住宅用 >

第 1 回検査 検査年月日 [年 月 日] 検査を行った時点の工程 [基礎の工程 : (具体的に)]						
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正
		A (目視等) ・ B (計測) ・ C (施工状況 報告書等の確認) の別 その他検査に用いた書類の記録		1 次 (適・否)	2 次 (適・否又は不適合箇所の記録)	
地盤	1) 支持地盤の位置・種類 2) 地盤の支持力 3) その他必要な事項					
基礎	1) 構造形式・寸法・位置 2) 部材の材質・種類・寸法・位置 3) 施工方法、品質管理方法 4) (必要な場合) 換気口の位置・間隔 5) その他必要な事項					
第 2 回検査 検査年月日 [年 月 日] 検査を行った時点の工程 [2 階床の工程 : (具体的に)]						
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正
		A (目視等) ・ B (計測) ・ C (施工状況 報告書等の確認) の別 その他検査に用いた書類の記録		1 次 (適・否)	2 次 (適・否又は不適合箇所の記録)	
地盤	1) 第 1 回検査で確認できなかった事項					
構造躯体	1) 部材の種類・材質・寸法・位置 2) 部材・基礎の接合方法 3) 部材を保護する材料の種類・材質 4) 施工方法、品質管理方法 5) その他必要な事項					
床下	1) 床下処理のための材料の種類・材質 2) 施工方法 3) その他必要な事項					

第 2 + n 回検査 検査年月日[年 月 日] 検査を行った時点の工程[3+7n 階床の工程:(具体的に)]						
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正 (月日)
		A(目視等)・B(計測)・C(施工状況 報告書等の確認)の別 その他検査に用いた書類の記録		1次 (適・否)	2次 (適・否又は不適合箇所の記録)	
構造躯体	1) 前回の検査で確認できなかった事項					
外壁構造 ・仕上げ	1) 部材の種類・材質・寸法・位置 2) 施工方法、品質管理方法 3) その他必要な事項 4) 前回の検査で確認できなかった事項					
共用廊下 ・階段	1) 廊下の寸法・位置 2) 階段の寸法・形状・位置 3) その他必要な事項					
共用配管	1) 配管の位置 2) 施工方法 3) その他必要な事項					
住戸内 検査項目	界床	1) 部材の種類・材質・寸法・位置 2) 施工方法、品質管理方法 3) その他必要な事項				
	界壁	1) 部材の種類・材質・寸法・位置 2) 施工方法、品質管理方法 3) その他必要な事項				
	内装	1) 部材の種類・材質・位置 2) その他必要な事項				

住戸内 検査項目	開口部	1) 開口部の位置・寸法 2) 部材の種類・材質・寸法 3) 施工方法 4) その他必要な事項					
	設備・器材	1) 設備等の種類・特性・寸法・位置 2) 取り付け方法 3) その他必要な事項					
	専用配管	1) 配管の位置 2) 施工方法 3) その他必要な事項					
	居室・廊下	1) 居室の面積・出入り口の寸法 2) 廊下の寸法 3) その他必要な事項					
第3+n回検査 検査年月日[年 月 日] 検査を行った時点の工程 [屋根床の工程 :(具体的に)]							
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正	
		A(目視等)・B(計測)・C(施工状況報告書等の確認)の別 その他検査に用いた書類の記録		1次 (適・否)	2次 (適・否又は不適合箇所の記録)		(月日)
構造躯体	1) 前回の検査で確認できなかった事項						
外壁構造・仕上げ	1) 前回の検査で確認できなかった事項						
共用廊下・階段	1) 前回の検査で確認できなかった事項						
共用配管	1) 前回の検査で確認できなかった事項						
住戸内	1) 前回の検査で確認できなかった事項						

第4 + n回検査 検査年月日 [年 月 日] 検査を行った時点の工程 [竣工時]						
検査項目	確認内容	検査方法	評価員署名	結果		修正 (月日)
		A (目視等)・B (計測)・C (施工状況 報告書等の確認)の別 その他検査に用いた書類の記録		1次 (適・否)	2次 (適・否又は不適合箇所の記録)	
構造躯体	1) 前回の検査で確認できなかった事項					
外壁構造 ・仕上げ	1) 前回の検査で確認できなかった事項					
共用廊下 ・階段	1) 前回の検査で確認できなかった事項					
共用配管	1) 前回の検査で確認できなかった事項					
住戸内	1) 前回の検査で確認できなかった事項					

[記入要領]

- 1 . 検査項目及び確認内容は、実際に用いる構造方法等により、上記の内容に基づき具体的に記述すること。
- 2 . 検査方法の欄には、実際に行った検査方法に応じて、A , B , C いずれかの記号を記入するとともに、施工状況報告書以外に検査に用いた書類がある場合は、その名称を記入することとする。
 - 1) A、B、Cの内容は次のとおりとする。
 - A (目視等): 実物を目視又はそれに準ずる方法(写真・ビデオ等)により確認すること。
 - B (計測): スケール等を用いて、寸法等を計測すること。
破壊検査等、検査に要する時間・費用が多大なものを求めてはいない。
スケールによる測定は、2～3箇所測定したのち、共通する部分については目視でよいものと考えられる。
 - C (施工状況報告書等の確認): 建設工事の請負者が作成する施工状況報告書その他の現場に備え付けられている書類に基づき、施工状況を確認すること。
 - 2) その他検査に用いる書類としては、工事写真、施工図、受け入れ伝票、施工技術者の資格証明書、工場における品質管理証明書等が想定される。
 - 3) 一部、工場で工程が実施されるものについては、必要に応じて、工場内の品質管理の水準が確認できる書類を求めることとする。
- 3 . 評価員署名: 複数の評価員で検査を行った場合は、責任者が署名を行うこととする。
- 4 . 結果欄の記入に際しては、次のとおりとする。
 - 1) 1 次の結果欄には、検査時点に直近の時点で行われた設計評価の対象となった設計図書のとおりにより工事が行われているかについて、不適合箇所が判明した場合には「否」を、それ以外の場合には「適」を記入することとする。
 - 2) 2 次の結果欄には、1 次で「否」となった場合に、不適合箇所の是正が確認された場合又は変更申請に基づき行われた設計評価の対象となった設計図書のとおりであると確認された場合に、「適」を記入することとし、このいずれでもない場合には「否」と記入することとする。
 - 3) 2 次で「否」となった場合には、不適合箇所及び不適合箇所が関係する表示項目を具体的に記述することとする。この場合、当該箇所に関する寸法、部材の種別等を現場で確認した場合には、確認した内容を記述することとする。
 - 4) 修正の欄には、上記 2) で「適」である旨を確認した時点の月日を記入することとする。

(別添様式2：標準施工状況報告書)

施工状況報告書(戸建住宅用)

現場の所在地							
建築主	氏名						
	現住所						
監理者	氏名						
	現住所						
建設業者	名称						
	所在地						
敷地面積	m ²	構造		着工年月日	年 月 日		
延べ面積	m ²	階数		建築確認番号			
第1回検査(基礎)	予定日:	年 月 日	/	実施日:	年 月 日	施工 確認 者 氏名	
第2回検査(屋根)	予定日:	年 月 日	/	実施日:	年 月 日		
第3回検査(内装)	予定日:	年 月 日	/	実施日:	年 月 日		
第4回検査(竣工)	予定日:	年 月 日	/	実施日:	年 月 日		

自主管理項目	管理内容	対象 図書	証左とな る書類等	チェック欄				検査者 記入欄
				1	2	3	4	
地盤					-	-	-	
基礎						-	-	
構造躯体				-			-	
外壁下地				-	-			
床下地				-	-			
外壁仕上げ				-	-	-		
内装				-	-	-		
開口部				-	-	-		
設備・器材				-	-	-		
配管				-	-	-		
居室				-	-	-		
廊下				-	-	-		
階段				-	-	-		

施工状況報告書（共同住宅用）

現場の所在地							
建築主	氏名						
	現住所						
監理者	氏名						
	現住所						
建設業者	名称						
	所在地						
敷地面積	m ²	構造		着工年月日	年 月 日		
延べ面積	m ²	階数		建築確認番号			
第1回検査（基礎）	予定日： 年 月 日 / 実施日： 年 月 日			施工確認者氏名			
第 回検査（2階床）	予定日： 年 月 日 / 実施日： 年 月 日						
第 回検査（ 階床）	予定日： 年 月 日 / 実施日： 年 月 日						
第 回検査（ 階床）	予定日： 年 月 日 / 実施日： 年 月 日						
第 回検査（屋根）	予定日： 年 月 日 / 実施日： 年 月 日						
第 回検査（竣工）	予定日： 年 月 日 / 実施日： 年 月 日						

[住棟部分の施工状況]

自主管理 項目	管理内容	対象 図書	証左とな る書類等	チェック欄						検査者 記入欄
				1	2	3	4	5	6	
地盤					-	-	-	-	-	
基礎							-	-	-	
構造躯体					-			-	-	
外壁構造 ・仕上げ					-	-				
共用廊下 ・階段					-	-				
共用配管					-	-				

[住戸部分の施工状況]

対象住戸番号								
自主管理項目	管理内容	対象 図書	証左とな る書類等	チェック欄				検査者 記入欄
				3	4	5	6	
界壁								
界床								
構造躯体								
外壁下地								
床下地								
外壁仕上げ								
内装								
開口部								
設備・器材								
専用配管								
居室				-	-	-		
廊下				-	-	-		

[記入要領]

- 1 . 施工確認者氏名の欄には、各回の検査の時点で本施工状況報告書の内容に責任を有する者の氏名を記入することとする。
- 2 . 自主管理項目及び管理内容は、実際に用いる構造方法等により、具体的に記述するkをととする。
- 3 . 管理内容の欄には、施工状況を確認した結果を記入することとする。具体的には、実際に使用された部材の種別・寸法・位置、施工方法、品質管理方法を記入することとする。
- 4 . 対象図書の欄には、設計評価の対象となった図書のうち、管理内容と対応する内容が記載されている図書の名称（平面図、床伏図、仕様書 等）を記入することとする。
- 5 . 証左となる書類の欄には、管理内容が事実であることの証左となる書類等の名称（品質管理記録、承認施工図、受け入れ伝票、写真、ビデオ等）を記入することとする。
- 6 . チェック欄の数字は、検査の回数を意味する。各欄には、該当する回の検査までの工程において、左の管理内容を確認した場合には を、未だ当該管理内容に対応する工事が行われていない場合及び既に前回までの検査で確認が終了している場合には - を記入することとする。
- 7 . 共同住宅においては、各戸に関係する項目に関する施工状況報告書を作成することとする。なお、同一内容となる複数の住戸がある場合には、対応する住戸の対象住戸番号を記入し、一葉とすることができることとする。